



平成19年11月1日

各位

会社名 株式会社フライングガーデン  
代表者名 代表取締役社長 野沢八千万  
(JASDAQ・コード 3317)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役管理部長 片柳紀之  
(TEL: 0285-30-4129)

### 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成19年5月11日の決算短信で公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想(中間期および通期)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 特別損失の発生およびその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、業績の低迷により将来キャッシュフローがマイナスと見込まれる2店舗につきまして当中間期に27百万円の減損損失を計上する見込みです。

#### 2. 業績予想数値の修正

##### (1) 中間期業績予想値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,264	163	149	65
今回修正予想(B)	4,116	96	85	13
増減額(B-A)	148	67	64	52
増減率(%)	3.5	41.1	43.0	80.0
(ご参考)				
前期実績(平成18年9月期)	4,188	205	190	78

##### (2) 通期業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,555	384	350	150
今回修正予想(B)	8,296	175	150	30
増減額(B-A)	259	209	200	120
増減率(%)	3.0	54.4	57.1	80.0
(ご参考)				
前期実績(平成19年3月期)	8,182	360	336	117

### 3. 修正の理由

#### (1) 中間期業績予想の修正理由

売上高は、既存店が前年比 92.4% になったこと、新店舗が建築基準法改正による手続きの遅れにより、計画どおり出店できなかったこと(店舗稼動月数 2 ヶ月減)等により、4,116 百万円(当初予想比 148 百万円の減少)となりました。

営業利益は売上減少に伴う利益の落ち込み、材料費の高止まり(予算比約 0.5% 増加)、パート・アルバイトの時給単価の上昇(予算比約 4% 増加)による人件費の高騰等により、96 百万円(当初予想比 67 百万円の減少)となりました。

経常利益は営業利益の減少により、85 百万円(当初予想比 64 百万円の減少)となりました。

当期利益は、経常利益の減少、上記の減損損失の発生により、13 百万円(当初予想比 52 百万円の減少)となりました。

#### (2) 通期業績予想の修正理由

売上高は、中間期の現状をふまえつつ、新メニューの投入や、個別店舗の現状に応じた販促の実施等を行い、売上高増加に努めますが、8,296 百万円(当初予想比 259 百万円の減少)となる見込みです。

営業利益は、材料費・人件費の高騰が下期も継続することが予想され、対策としてメニュー改定による原価の見直し、パート・アルバイトの資格制度導入による人材育成の早期化等実施しますが、175 百万円(当初予想比 209 百万円の減少)となる見込みです。

経常利益は、営業利益の減少により 150 百万円(当初予想比 200 百万円の減少)となる見込みです。

当期利益は、中間期の減損損失の計上、及び経常利益の減少から、30 百万円(当初予想比 120 百万円の減少)となる見込みです。

(注) この資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上